

たてばやし

第203号

# 市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



3月  
定例会

バラのトンネル (東武トレジャーガーデン)

## 平成31年度 館林市一般会計予算など 21議案が決まりました

### 主な掲載記事

- 本会議のあらまし・常任委員会の審査報告 … 2～3 ページ
- 予算特別委員会 …………… 4 ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 …………… 5 ページ
- 一般質問 (9人) …………… 6～11 ページ
- 議員研修会 …………… 11 ページ

# 本会議のあらまし

平成31年館林市議会第1回定例会は、3月1日から19日までの19日間の会期で開かれました。この定例会に市長から提案された議案は21件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、可決されました。

## 人事案件

▽教育長の任命について  
教育長の吉間常明さん（上三林町）の任期が、本年3月5日をもって満了となることから、後任に小野定さん（大島町）を任命したいとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。



教育長  
小野 定 さん

▽公平委員会委員の選任について  
公平委員会委員の黒岩光枝さん（堀工町）の

## 条例の改正

任期が、本年3月11日をもって満了となることから、引き続き選任したいとして、地方公務員法の規定により、議会の同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

▽館林市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
市長等の給料については、「館林市長等の給料の特例に関する条例」に基づき、平成18年1月1日より、市長については97万5000円の20%減の78万円、副市長については82万5000円の16%減の69万3000円、教育長については73万円の12%減の64万2400円に、それぞれ

れ給料月額を減額していましたが、本年4月25日をもってその特例期間が終了することに伴い、館林市特別職報酬等審議会の答申に基づき、給料の額を市長は89万円に、副市長は75万6500円に、教育長は66万7500円に、それぞれ改定するため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。

▽館林市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例  
市長等の退職手当の支給割合について、館林市特別職報酬等審議会の答申に基づき、市長は100分の60から100分の45に、副市長は100分の35から100分の30に、教育長は100分の28から100分の25に改定するたため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。

▽館林市奨学資金貸与に関する条例  
奨学資金貸与の申請に必要な保証人2名の居住要件を、これまでの市内に居住することから日本国

内に住所を有することに改めることで、より利用しやすい制度にすることをはじめ、規則で規定していた学業成績証明書の提出を条例に明記して厳密化するとともに、奨学金の全部または繰り上げ返済が可能であることを明記し、弾力的な返済ができるようにするため、本条例の全部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正に伴い、一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格要件について、新たに制度化される専門職大学の前期課程を修了した者を追加するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。



▽館林市応急生活資金貸付条例の一部を改正する条例  
元号が改められることに伴い、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
国民健康保険の財政運営主体である群馬県が決定する国民健康保険事業費納付金を納付する必要があるため、保険税率等を改正するものである。保険税率については、館林市国民健康保険運営協議会に諮問し、その答申を受けて平成31年度の税率を改正しようとするものであり、一人当たりの保険税額の比較では、平成30年度の10万8501円に対し、平成31年度は11万2976円となり、差し引き、4475円、率にして4・12%の引き上げ等を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。

▽館林市市営住宅設置条例の一部を改正する条例

老朽化した市営住宅2棟の取り壊しに伴い、当該市営住宅の戸数を変更するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

### 条例の廃止

▽館林市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例を廃止する条例  
勤労青少年ホームは、勤労青少年福祉法に基づき昭和62年4月に勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図ることを目的とし、赤羽公民館との複合施設として設置されたが、少子化等による人口減少や若者の余暇の多様化等、社会情勢の変化に伴う利用者の減少及び根拠法の抜本的改正により勤労青少年ホームの設置義務が消滅したことに伴い、その役割を終えたものと判断し、本年3月31日をもって閉館するため、本条例を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

### 補正予算

▽平成30年度館林市一般会計補正予算(第6号) 11億2609万4000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ289億318万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成30年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 9945万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ85億833万円とするもので、全員一致で可決されました。  
▽平成30年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第2号) 4440万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17億4926万1000円とするもので、全員一致で可決されました。  
▽平成30年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号) 1億452万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ65億5764万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽平成30年度館林市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 1836万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億8022万5000円とするもので、全員一致で可決されました。

### 平成31年度予算

平成31年度一般会計予算の総額は284億1500万円、前年度比1.0%の増となっています。

また、特別会計(国民健康保険など5会計) 予算の総額は、176億9892万円、前年度比0.8%の増となっています。(詳細については、4ページに掲載)

### 議員提出議案

▽館林市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
館林市特別職報酬等審議会の答申に基づき、議長、副議長及び議員の議員報酬の額について改定するとともに、所要の改正をするため、本条例の一部を改正しよう

とするもので、賛成多数で可決されました。  
▽館林市政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 元号が改め

### 常任委員会の審査報告

られることに伴い、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

### 総務文教

付託された案件は、「館林市奨学資金貸与に関する条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

者総合支援センターの現地視察を実施しました。



障がい者総合支援センターの現地視察

### 市民福祉

付託された案件は、「館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、議会から推薦する各種委員会委員のうち、群馬県共同募金会館林支会委員に権田昌弘議員を選出しました。  
そのほか、館林市障がい

### 経済建設

付託された案件は、「館林市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例を廃止する条例」の1議案で、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、議会から推薦する各種委員会委員のうち、館林市観光協会理事に川村幸人議員と櫻井正廣議員を選出しました。

## 予算特別委員会

3月4日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。平成31年度一般会計予算をはじめ、5つの特別会計予算が付託され、11日、12日、14日の3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計及び国民健康保険特別会計は賛成多数で、下水道事業、農業集落排水事業、介護保険及び後期高齢者医療特別会計は全員一致をもって、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

### 市長の提案説明による主要な施策

#### ■災害時の危機対応能力の高いまちづくりに資する事業

各公民館を単位とした地区防災計画策定の取組を推進するほか、災害時の情報伝達手段の多様化を図るため、防災行政無線の設計に取り組みます。また、国土強靱化地域計画を完成させ、シンポジウムを開催するとともに、防災アドバイザーを活用し、住民等の理解と自助・共助意識の高揚を図ります。そのほか、今年度完成予定のハザードブックの多言語化や感震ブレーカーの設置補助を行います。

#### ■健康寿命を伸ばし、生涯現役のまちづくりに資する事業

昨年度発足した健康寿命延伸プラットフォームの事業を推進するため、4つの専門委員会での調査・研究を継続して行うとともに、シンポジウムを開催し、その成果等を市民へ情報発信するほか、さらに市民意識調査や健康ウォーキング教室を実施し、健康づくりや健康寿命の延伸に取り組みます。また、農業担い手育成支援金を継続し、定年後の就農を引き続き支援します。

#### ■個性にあった教育と、仕事が見つかるまちづくりに資する事業

地域の教育力を学校運営に生かす「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)を2校に拡大し、地域とともにある学校づくりを進めます。また、向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業や子どもの学習支援事業を引き続き実施するほか、就労支援事業において、就労機関等と連携し、障がい者雇用を積極的に取り組んでいる先進的企業を視察するなど、障がい者・発達障がい者の個性にあった職場環境づくりを推進します。

#### ■館林の観光・食・農産物のブランド力の向上に資する事業

たてばやし商業支援事業において、エリア価値を高めるまちづくりを推進するため、引き続きリノベーションスクールを開催するほか、新たに「百年小麦」「百年饅頭」「たてばやしラーメン」などのたてばやしグルメのブランド化に努めます。また、平成32年(令和2年)4月

から6月に開催される群馬デスティネーションキャンペーンに合わせ、観光総合パンフレットを作成するほか、SNSを活用した事業に取り組み、本市の観光情報を発信し交流人口の増加を図ります。さらに、日本遺産の登録に向け沼辺文化推進事業を展開し、「里沼」を活かした体感型の事業を実施するほか、旧秋元別邸の廊下や段差をバリアフリー化し沼辺文化の拠点化を図るなど、本市の魅力向上やシビックプライドの醸成につながる新しいまちづくり事業に取り組みます。

#### ■人口減少時代に対応した持続可能なまちづくりに資する事業

移住定住促進通勤支援金を継続して実施するほか、新たにわくわく地方生活実現支援金を交付し、東京圏から本市への移住・定住を促進します。さらに、市有地の有効活用を図り、定住人口の増加を推進するため、市有地を購入した移住・定住者に、市有地活用移住定住支援金を交付します。そのほか、農業分野においては、スマート農業推進プロジェクト事業を実施し、情報通信技術(ICT)を活用して農業の実証分析を行い、効率化、軽労働化、品質安定などを可能とする魅力ある農業を推進するほか、新技術導入事業費補助金や地域農業振興就学支援金を継続するなど、持続可能な農業に引き続き取り組みます。

このほかとしまして、特定外来生物、クビアカツヤカミキリによる桜への被害拡大を防止するため、「クビアカツヤカミキリ撲滅館林プロジェクト」を実施し、市民と協働して被害撲滅を目指し対策の強化を図ります。さらに、中央通り線や館林駅東口駅前広場、第十小学校、第四中学校、三野谷公民館など公共施設や社会資本の整備を行うほか、総合福祉センターに子どもの総合相談窓口を開設し、地域で子どもを支える仕組みづくりを推進するなど、医療や福祉、環境などの様々な課題に対処し、市民生活をサポートしていきます。

### 平成31年度 一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額(千円)	構成比(%)	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	11,539,210	40.6	総 務 費	2,231,376	7.9
地方交付税	2,070,000	7.3	民 生 費	9,176,774	32.3
国庫支出金	3,151,864	11.1	衛 生 費	3,941,572	13.9
県支出金	2,740,676	9.6	商 工 費	1,517,593	5.4
繰 入 金	1,869,667	6.6	土 木 費	3,786,239	13.3
諸 収 入	1,727,863	6.1	教 育 費	3,729,897	13.1
市 債	2,361,900	8.3	公 債 費	2,256,039	7.9
そ の 他	2,953,820	10.4	そ の 他	1,775,510	6.2
計	28,415,000	100.0	計	28,415,000	100.0

### 一般会計予算は

総額284億1500万円

### 平成31年度 特別会計予算

会 計 別	予算額(千円)
国民健康保険特別会計	8,315,739
下水道事業特別会計	1,696,358
農業集落排水事業特別会計	47,761
介護保険特別会計	6,747,826
後期高齢者医療特別会計	891,236

## 議員個人の賛否結果一覧表

議案等名		議席番号																		結果
		議員名																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	齊藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	齊藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信	
議案第1号	教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	同意
議案第2号	公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	同意
議案第3号	館林市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第4号	館林市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第5号	館林市奨学資金貸与に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	館林市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	館林市応急生活資金貸付条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第9号	館林市勤労青少年ホーム設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	館林市市営住宅設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	平成30年度館林市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	平成30年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	平成30年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	平成30年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	平成30年度館林市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	平成31年度館林市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第17号	平成31年度館林市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第18号	平成31年度館林市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	平成31年度館林市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	平成31年度館林市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	平成31年度館林市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第1号	館林市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議員提出議案第2号	館林市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決

※遠藤重吉議長は採決に加わりませんので「—」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

# 市政を問う!!

# 一般質問

今定例会における一般質問は、3月5日・6日の2日間にわたり行われ、9人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。(本文は質問者本人が要約したものです。)

3月5日



**権田昌弘議員 (7ページ)**  
 ○スポーツ施設の整備について  
 ○市長の政策ビジョンについて



**松本隆志議員 (7ページ)**  
 ○児童虐待の対応について  
 ○新規就農推進の取り組みについて



**柴田 信議員 (8ページ)**  
 ○現在の本市における防災・減災に係る様々な取り組みについて  
 ○本市の地域包括ケアシステムに関連した認知症に対する取り組みについて



**斉藤貢一議員 (8ページ)**  
 ○市民協働とまちづくり体制について



**平井玲子議員 (9ページ)**  
 ○使用済み紙おむつのリサイクルについて  
 ○災害備蓄品としての液体ミルクの導入について  
 ○災害時の段ボール簡易ベッドの活用について

3月6日



**櫻井正廣議員 (9ページ)**  
 ○館林総合卸売市場の今後の展開について  
 ○富士嶽神社「初山大祭」等の文化財指定について  
 ○健康寿命の延伸に繋がることが期待されているグラウンドゴルフの活動について



**斉藤晋一議員 (10ページ)**  
 ○本市における公園の現状等について



**小林 信議員 (10ページ)**  
 ○歴史の小径の現状と課題、今後の取り組みについて



**篠木正明議員 (11ページ)**  
 ○サイクリングターミナルの今後について

※一般質問通告書の質問事項を掲載

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/shigikai/>



館林市議会



館林市議会ホームページから  
会議録をご覧ください。

市議会だよりは紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は  
会議録をご覧ください。

※3月定例会の会議録は6月上旬頃掲載予定です。



## スポーツ施設の整備と 市長の政策ビジョンについて

権田 昌弘議員

城沼総合体育館について

**質問** 城沼総合体育館が2020年インターハイのレスリング会場となりますが、いつ開催されるのですか。

**答** 8月21日から24日までの日程で競技が行われることとなっております。

**質問** 2020年までに空調設備を整備する考えは。

**答** 仮設の空調設備による冷房を考えております。城沼野球場について

**質問** 今やラバーが安全上当たり前の中、城沼野球場にラバーを設置する考えは。

**答** 来年度は本部棟から両翼ポールまでの区間にラバーを設置するための予算を計上しております。

城沼陸上競技場について

**質問** トラックをオールウエザーに改修する考えは。

**答** 改修工事には大掛かりな地盤改良と多額の経費を要する状況で、業者からは、今後も地盤が沈下する可能性があり、設置は大変厳しいと伺っています。

**質問** タッチ板を設置するための改修を行い、公式記録を出せる施設にするべきだが、改修を行う考えは。

**答** まずは必要な修繕等

**質問** 保護を要する児童への対応状況、発生予防の取り組みについて伺います。

**答** 本市には児童養護施設や一時保護施設はなく、市外の施設を利用しています。里親制度には課題もあるため、本市の登録は4世帯となっておりますが、様々な啓発活動を通じ、里親制度の理解促進に継続して努めていきます。また、親子の孤立を予防し、不安感や負担感を軽減するための取り組みとして、妊娠・出産包

を行い、その後の計画としてタッチ板を含めた自動審判計時装置の設置を検討したいと考えております。

**市長の政策ビジョン**

**質問** 中央通り線は、拡幅工事を受け、今後どうなっていくのか、お伺いします。

**市長** 拡幅という道路空間だけの整備にとどまらず、歩行者空間の活用という視点で捉え、地域活性化が実現していく可能性があり、歴史の小径などとともに、人が主役の歩いて楽しい空間が形成され、回遊性を高めるよう、調整を図ってまいります。

**質問** 市長は多くの種をまいたと言っていますが、その種のチョイスはどうやってしたのか、お伺いします。

**市長** 政策目標に基づいて新規事業を職員とともに立案しました。内外の情報を収集しながら地元の皆様の声に耳を傾け、市民の皆様に政策の選択を仰ぎ、公約実現に向けて努力をしているところです。

## 児童虐待の現状と対応、 新規就農推進の取り組みについて

松本 隆志議員

児童虐待の現状と対応

**質問** 社会問題となっている児童虐待の本市における現状と対策、関係機関との連携について伺います。

**答** 本市の児童虐待の相談は、家庭児童相談室で受けており、相談件数は年々増加傾向にあります。群馬県は、国が定めた基準の48

時間より厳しい、24時間以内に安全確認を行うことを義務づけています。また、平成20年度より要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関との連携を図るとともに、本市は県境に位置し、県外他市との転入・転出が多いため、該当市町村と連絡を密にとっています。

**質問** 保護を要する児童への対応状況、発生予防の取り組みについて伺います。

**答** 本市には児童養護施設や一時保護施設はなく、市外の施設を利用しています。里親制度には課題もあるため、本市の登録は4世帯となっておりますが、様々な啓発活動を通じ、里親制度の理解促進に継続して努めていきます。また、親子の孤立を予防し、不安感や負担感を軽減するための取り組みとして、妊娠・出産包

**質問** 農業従事者の現状や農地集積・集約化の取り組みについて伺います。

**答** 農業従事者数は、この10年で42%減少し、高齢化が顕著になっています。農地の状況は、農業基盤強化促進事業により担い手への集積・集約を図っており、農地面積の約32%に利用権設定がされています。更に土地改良事業等で面的な整

括支援事業を実施し、切れ目ない支援を行っています。新規就農推進の取り組み

**質問** 農業分野での新たな取り組みについて伺います。

**答** ICT技術を活用し、実証分析を行い、農作業の効率化、軽労働化、品質安定を可能にする取り組みに努めます。また、安全・安心な新鮮野菜の供給を通じた農産物のブランド化や、農商工連携の6次産業化を推進し、魅力ある持続可能な農業を目指していきます。

# 本市の防災・減災に係る 様々な取り組みについて

柴田 信議員

**質問** 本市と災害協定を締結している自治体及び民間団体の数や、その内容についてお伺いします。

**答** 本市では、自治体及び民間事業者等と61の災害協定を締結しています。その内容は、自治体間では職員の派遣や救助、救急活動に必要な車両の提供などに

ついての相互応援に関するもの、民間事業者等とは水、食料、生活必需品などの物資供給や支援物資の輸送、保管などの役務提供に関するものとなっています。

**質問** 今後も協定を締結していく予定はありますか。  
**答** 全国の先進事例や被災地の状況を情報収集しな

がら、今後も協定締結を推進していく予定であります。  
**質問** 本市における消防団活動の現状についてお伺いします。

**答** 館林地区消防組合館林消防団として組織され、消防団事務については館林消防署が行っています。現状については、組織編制が10分団、18班体制で、消防団員は248名となっています。活動については、災害活動のほか水防工法講習、ポンプ操法大会、秋季点検、

出初式など、年間を通じて活動しています。  
**質問** 防災士の資格を多くの市民に取得してもらいたいと考えますが、今後の予定についてお伺いします。

**答** 群馬県主催のぐんま地域防災アドバイザー防災士講座は、来年度も実施予定となっています。今後、より多くの市民が受講しやすくなるよう、東毛地区への会場設定を県に要望したいと考えています。  
本市における地域包括ケア

システムに関連した認知症に対する取り組みについて  
**質問** 認知症初期集中支援チームの活動内容についてお伺いします。

**答** 本市では、認知症の専門医、精神保健福祉士及び保健師等で構成された3チームが活動しています。認知症の方または疑いのある方とその家族等に医療及び保健福祉の両面から専門的かつ集中的にかかわり、必要に応じた支援につなげています。

# 総合戦略とまちづくり構想について

斉藤 貢一議員

**質問** 総合戦略の進捗状況についてお伺いします。

**答** 重要業績評価指標による過去3年間の進捗割合では、平成27年度から順に、47・2%、62・1%、55・3%となっています。

**質問** この指標については、以前も指摘しましたが、目的に対して、判断が難しい

ものが多いと考えます。具体的な数値を示した成果指標をみると、5つの目標のうち達成できているのは1項目で、その割合は20%となります。戦略の効果検証等を行う組織がありますが、その内容について伺います。

**答** 8名の有識者による検証委員会を毎年開催し、

その検証結果を次年度の予算編成作業がスタートする前に関係課へフィードバックするなど、事業の見直しや改善に役立てています。

**意見** 平成28年より年1回、これまで3回開催されていますが、1時間半から2時間の会議であり、出席委員も3回出席した委員が1名、2回が2名、ほかは欠席や代理出席など、検証委員会と言えるのか疑問です。地方創生は失敗と言われる中、重要な検証委員会が十分機能

能しているとは思えません。次期総合戦略の検証では改善していただきたいと思えます。

**質問** 板倉町との合併は、おおむね3年程度休止となりましたが、これからのまちづくり構想をどのように考えているのか、伺います。

**市長** 館林都市圏広域立地適正化計画の推進と、コンパクトシティの両立を目指し、持続可能なまちづくりを進めたいと考えます。  
**質問** 広域的なまちづくり

を進めるため、市民や町民の民意を生かすことが行政の役割だと思えますが、考えをお伺いします。

**市長** 地域政策が政治や行政の決定手続だけをもって行われるのではなく、広く市民や他の団体との合意形成を図るといふプロセスをもつて取り組むことが大切と考えています。  
**意見** 市民協働の醸成、成熟を待つのではなく、行政の役割として、道筋を示すべきだと考えます。



## 紙おむつのリサイクルと液体ミルク 段ボールベッドの活用について

平井 玲子議員

紙おむつのリサイクル

**質問** 可燃ごみに占める使用済み紙おむつの割合と、今後取り組むべき対策についてお伺いします。

**答** 平成27年に環境省が示した推計値の5%を用いて推計しますと、本市の使用済み紙おむつの量は約1070トンとなります。

的に集められるところから始めるなど、積極的に対策を講じていただきたく要望いたします。

液体ミルクの導入

**質問** 本市では乳幼児対象の災害備蓄品はありますか。

**答** 幼児対象の備蓄はあるものの、乳児対象の備蓄は実施しておりません。

**質問** 液体ミルクを導入するお考えはありますか。

**答** 導入に向けて研究していきたいと考えています。  
**要望** 液体ミルクは災害用

だけでなく、子育て中の負担軽減という目的もあり、前向きに検討していただけるよう要望いたします。

段ボール簡易ベッドの活用

**質問** 災害発生時に、被災者が避難所で休む際はどのような方法をお考えですか。

**答** 防災直後におきまして、備蓄している毛布及び間仕切りを活用し、避難所における初動対応を行うことを考えております。

**質問** 段ボール簡易ベッドを今後活用するお考えがあるか、お伺いします。

るか、お伺いします。

**答** 群馬県の協定に基づき、供給を受けられますが、県を通じての要請のため、供給まで時間を要することから、現在協定に向けた検討を行っているところです。

**要望** 協定であれば、備蓄しておく必要はなく、災害時搬入ということでお金もかかりません。ぜひ本市としても段ボールメーカーと協定を結び、災害に備えていただけるよう強くお願いし、要望いたします。

## 館林総合卸売市場・初山大祭・ グラウンドゴルフについて問う

櫻井 正廣議員

館林総合卸売市場

**質問** 本市との市有財産の無償貸付契約が本年6月末で満了となりますが、今後の展開について伺います。

**答** 現契約を延長し、引き続き経営動向について、確認、調査していきます。

**質問** 近隣の市場では、補助金等の支援を受けて運営

していますが、本市の考え方について伺います。

**答** 近隣の市場とは取引高を比較しても約10倍の開きがあり、施設の規模や広域性の条件も異なります。

補助金等については、経営状況等を詳細に確認し、費用対効果を検証しながら慎重に進めたいと考えます。

**質問** 災害時の支援物資の分配拠点として活用する考えがあるか、伺います。

**答** 災害時には複数の経路があったほうが良いという考えもあります。スペースや老朽化の課題も含め、防災部局と情報交換しながら研究していきます。

富士嶽神社初山大祭

**質問** 「初山大祭」の文化財指定について、その後の進捗状況を伺います。

**答** 文化財保護審議会に諮り、指定に向けての協議

を進めています。

**質問** どのような形での指定を考えているのですか。

**答** 審議会より、指定名称には富士原の地名、塚、初山の文字を入れることを提案されています。今後地元の皆様と協議しながら、指定を実現していきたいと考えています。

**要望** 日本遺産の申請を行った縁起の良い年に、文化財指定につながることを要望します。

グラウンドゴルフ

**質問** 健康寿命の延伸に繋がると期待され、各行政区で盛んに行われているグラウンドゴルフについて、「館林城ゆめひろば」の一部を開放する考えはありますか。

**答** 市のイベントが予定されていないときは、利用可能ですが、恒常的に最適な状態を維持することは管理上難しいと考えています。用具を格納する倉庫の設置と併せて、ゆめひろばの今後の利用状況に応じて検討したいと考えます。

## 魅力あるまちづくりに 欠かせない「公園」について

齊藤 晋一 議員

公園の保守点検について

**質問** 公園遊具の種類や設置数は、事故等の懸念などで減少傾向にあると思いますが、公園遊具の保守点検について伺います。

**答** 保守点検は全ての遊具を年に1回、公園施設製品安全管理士や公園施設製品整備技士などが在籍する

業者へ委託し実施しています。また、公園管理受託業者が、日常的に目視や触診により点検を行っています。

**要望** 公園遊具は、子どもの運動能力や危機察知能力などを養うために大変重要であり、公園の魅力そのものです。子どもたちの要望に沿って安心な遊具を増や

すよう要望します。

**質問** 公園は、健康増進に取り組む高齢者の方も多く利用されていると思います。健康遊具の設置状況について伺います。

**答** 健康遊具を2か所の公園に8基設置しています。また、2か所の公園と城沼つつじ緑道には、背伸ばしベンチを設置しています。  
**要望** 健康寿命の延伸のためにも、高齢者が集う場所に健康遊具を設置するよう

要望します。

**質問** 公園は、災害時には避難者の生活拠点となりますが、かまどの機能を兼ね備えたベンチの設置について伺います。

**答** 市内には18か所の公園が緊急避難場所に指定されており、防災かまどベンチ等に代表される災害対策施設について、今後研究したいと考えます。  
**質問** 近隣住民の意見や利

用者の要望を取り入れ、地元のイベントなども開催できる地域密着型公園の考えについて伺います。

**答** 公園のあり方を見直す際には、地元の方々にも参加していただくなど、よりよい公園づくりを進めたいと考えます。

**要望** 公園は夢の広がる空間施設であり、住民の要望に添った公園が必要です。公園を、緑と人が輝き潤いのある身近な施設に育てるよう要望します。

## 歴史の小径の現状と課題、 今後の取り組みについて

小林 信 議員

観光客を歩かせる自信は？

**質問** 歴史の小径のパンフレットに、「館林駅前から館林城土橋門を結ぶ約1.5キロメートルの道、江戸時代の風情を感じることが出来ます」と記され、まちなか散策ガイドには、「館林を訪れる人々に隠れた魅力に触れていただこうと、

駅からつつじが岡公園まで、城下町・町屋の面影を訪ねるモデルルートを設定」とありますが、観光客をこの小径に誘導して、つつじが岡公園まで向かわせる自信はありますか。現状は、歴史とは名ばかりで何もないと言っても過言ではありませんが、今後どのように展開

しようとしているのですか。

誘客につなげる試みを

**答** 観光分野においては、旧秋元別邸のライトアップなど、駅前からつつじが岡公園までの動線をより魅力的に演出し、誘客につなげるための試みを行いながら、今後も更なる工夫を重ね、四季を通じて市民や観光客に楽しんでいただけるまちなかにしたいと考えています。

プロジェクトを立ち上げ

**質問** 館林市の中心市街地を全体として活性化させて

点をつなぎ面にしていく

**答** 城下町らしい歴史的街並みを大切にしていく方

いくためには、まちなかにある歴史の小径を中心としたエリアのにぎわいを取り戻す取り組みが必要だと思えます。そこで、当然関係各課より招集したプロジェクトチームを立ち上げ、責任を持って専門的に中心市街地の活性化を図っていくべきですが、活性化のための取り組みについてお聞かせ下さい。

策として、国交省の都市再生整備計画などがあり、今後これらの各施策や、補助事業の情報収集を始めたいと思えます。庁内では部局横断的な核となるメンバーの編成や、市役所外の方々も加えたプロジェクトチームをつくるのがよいと考えています。点をつなげ面にしていくなかで、整備を進めたいと思えますが、一朝一夕にかなうものではありませんので、市民の皆様の手を強く支援していきます。

# サイクリングターミナルの今後について

篠木 正明 議員

**質問** なぜ、利活用の方向性が福祉施設になったのですか。

**答** 市民や有識者による利活用意見交換会で、健康増進施設またはコミュニティー施設の要望が多く出されました。また、民間事業者へのアンケートで、4事業者から障がい者福祉施設

としての利活用を希望する回答がありました。就労系障がい者福祉サービスであれば、利活用意見交換会の要望に対応できる可能性があることから、福祉施設としての利活用となりました。

**質問** 利活用意見交換会で、健康増進施設等の要望が多かったと言いますが、健康

増進施設が良いという人も個別意見では観光施設的な活用をしてほしいと要望しています。また、報告書には「観光利用の必要性は高い」と書かれています。観光的な活用が意見交換会の意見なのではないですか。

**答** 市民が求めているのは、観光を重視した施設という認識はありません。

**質問** 福祉施設ではなく、観光施設としての活用を模索すべきではないですか。

**答** 旧秋元別邸から花山

公園までを賑わい創出エリア、サイクリングターミナルを含む区域を水辺空間の形成エリアとして位置づけ、賑わい創出エリアを重点に考えたいと思います。

**質問** サイクリングターミナル周辺も観光的な活用ができれば、賑わい創出エリアの賑わいを作る効果があると思います。

土地と建物は売却する方針ですが、城沼南岸の観光にとつて一等地を売却してよいのですか。

**答** 賑わいを創出するためにも、魅力あるつつじが岡公園にすることに重点を置き、投資を分散化するのではなく、サイクリングターミナルの土地と建物は売却したいと考えています。

**意見** 民間に売却した場合、将来的には転売され、住宅地等になる懸念があります。ロケーションが良く、心安まる場所を将来の市民に受け継いでいくのが、今を生きる我々の役目なのではないでしょうか。

## 議員研修会を開催

### 歴史エンターテインメントと

### 地域おこし

### 「聖地巡礼を仕掛けろ！」

2月22日(金)・文化会館小ホール



持続可能なまちづくりに向け、多くの自治体が交流人口の拡大による、地域活性化の方策を模索しております。近年では、アニメや映画等の名所・名場面の舞台を訪れる「コンテンツリズム」による地域活性化

の効果が期待されており、本市においても、アニメ「宇宙よりも遠い場所」における舞台になっているほか、館林城主であった徳川綱吉公等の歴史上の人物を活用したまちづくりを進めているところ です。



議員研修会の様子と講師の瀧津孝氏

こうした状況の中で、市議会といたしましても、今後の交流人口拡大に向けた活用のヒントとして、アニメや歴史エンターテインメントが持つ可能性や意義、期待される成果などについて考えるため、歴史エンターテインメント作家の瀧津孝氏を講師に招いて、「歴史エンターテインメントと地域おこし」聖地巡礼を仕掛けろ！」と題した研修会を、2月22日、文化会館小ホールにおいて開催し、

本市職員をはじめ、邑楽郡内の町議会議員の皆様や本市区長協議会及び商工会議所の方々などにも多数ご参加いただき、「聖地巡礼」により地域を大きく活性化させている実例や、アニメシリーズの成功にはファンの声に耳を傾けると同時に、地域住民の理解が必要であること、本市が今後掘り起こすべき歴史上の人物の提案等について、自身が実際に体験した事例を交えて、ご講演いただきました。

# 議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

本会議・常任委員会・特別委員会はどなたでも傍聴することができます。議会では皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会の傍聴してください。

傍聴手続きは、議会棟の3階又は4階に備え付けの用紙に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。

## 【6月定例会の予定】

- 6月 7日(金) 本会議=会期の決定、議案提案説明など
- 10日(月) 本会議=議案に対する質疑、委員会付託など
- 13日(木)・14日(金) 本会議=一般質問
- 17日(月)・18日(火) 委員会=常任委員会
- 24日(月) 本会議=表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、6月5日(水)から議会のホームページでご覧いただける予定です。

(<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒館林市議会をクリックしてお入りください。)

## 平成29年12月定例会より 議会の録画映像を配信しています

館林市議会では、「開かれた議会」を目指し、録画映像の配信が始まりました。本会議の様子はパソコン、スマートフォンやタブレット端末によりご覧になれます。配信は、議会閉会後(おおむね7日後)からとなります。市政や議会を知るためにも、ぜひご覧ください。

**館林市議会**

**1 トップページを開く**  
館林市ホームページ内  
「館林市議会」トップページを開きます

**2 ここをクリック!**  
トップページ下の方にある  
「録画映像配信」を  
クリックします

**3 議会中継の画面が開く**

項目を選んで  
ご覧ください。